



南三小

教育目標
よく考える子ども
心も体もたくましい子ども
仲良く助けあう子ども

6月号

町田市立南第三小学校
令和 8年 5月 29日
校長 工藤 成

URL <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310182>

「見える」思いやり ～ふれあい月間に寄せて～



ことを今後の学習に生かしてまいります。

さて、詩人で作詞家の宮澤章二が作った「行為の意味」という詩があります。かつて公共広告(AC)がこの詩の一部を引用し流していたので、ご存じの方も多いかもかもしれません。思うだけでなく、具体的な行為としてあらわれた時、その心は相手に伝わります。「あの子、一人で寂しそうだな」と思う【思い】。それは尊い優しさの芽です。そこから一步踏み出して「一緒に遊ぼう」と声を掛けたり、隣に座ったりすること【思いやり】で、相手の心がぬくもりに包まれます。

ところで、東京都教育委員会は6月、11月、2月を「ふれあい月間」としています。これは、いじめ防止はもちろん、子供たちが互いの良さを認め合い、思いやりの心をもって接することができるよう、重点的に取り組む期間です。そこで、本校では自分の心が見える形になっているかを子供たちと一緒に考えていきます。例えば、「元気なあいさつで、相手を大切に思う気持ちを届ける」「困っている友達に『大丈夫?』と手を差し伸べる」「友達の意見を最後まで丁寧に聴く」等々、一つ一つの見える行為の積み重ねが、いじめを許さない、誰もが安心して過ごせる学級・学校を創る土台となるはずです。ご家庭でも、子供の小さな善い行い、優しい言葉遣いを見つけた時は、「その行動は素敵だね」「今の言葉、嬉しかったよ」と具体的な行為を価値付けてあげてください。

南三小の紫陽花も梅雨の季節を迎え鮮やかに色づき始めました。土壌の性質や時期によって、刻々と色を変えていく紫陽花。青、紫、ピンク…。一つとして同じ色合いのものはなく、それぞれの美しさを放っています。子供たちもまた、得意なことや苦手なこと、豊かな感性など、一人一人が異なる個性を持っています。今月も、その「自分色」を存分に発揮できるよう、寄り添ってまいります。そして、思いを行動につなげる日々としていきたいと思っております。

校長 工藤 成

先週は運動会へのご参観ありがとうございました。子供たちは「エイエイオー! みんなでこえよう去年の自分」のスローガンの下、積み重ねてきた練習の成果を発揮できました。温かなご声援に改めて感謝いたします。運動会を通して学んだ

行為の意味

宮澤 章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが
やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、
初めて美しく生きる
それは
人が人として生きることだ

